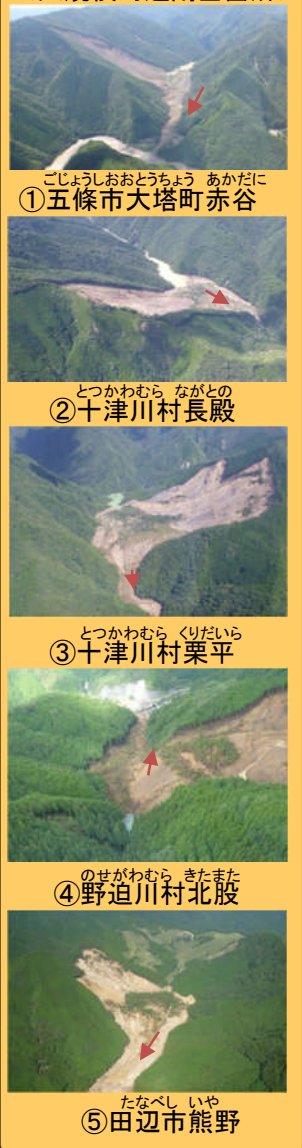


土砂災害の被害状況

- ・三重県、和歌山県、奈良県で合計101箇所の土砂災害が発生、死者・行方不明者は94人を伴う甚大な災害
- ・大規模河道閉塞が5箇所発生し、平成23年5月の改正土砂法施行後初の国による緊急調査を実施

<大規模河道閉塞箇所>



(11月30日10時時点)
土砂災害発生件数
101件

土石流等：58件
地すべり：13件
がけ崩れ：30件

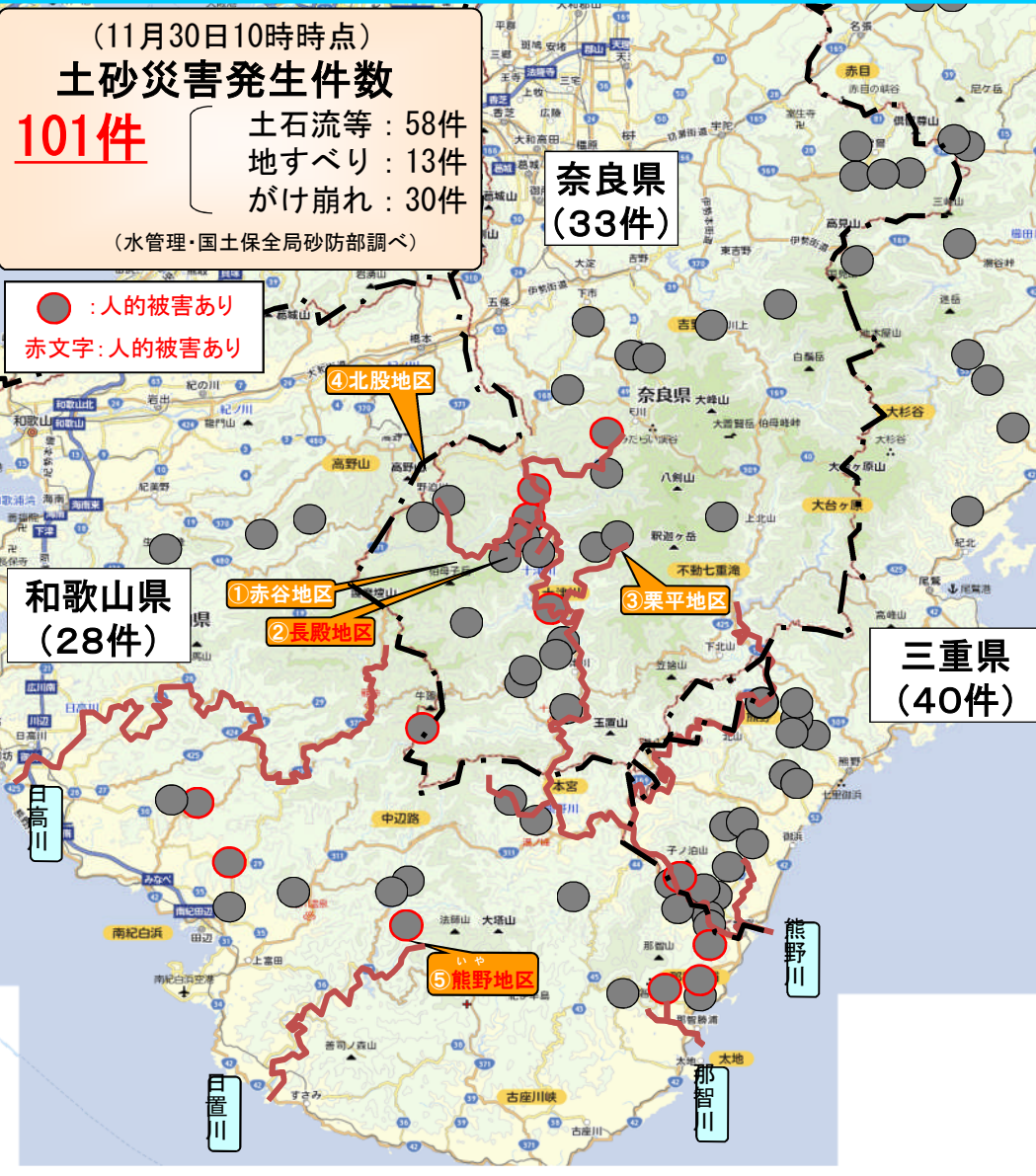
(水管理・国土保全局砂防部調べ)

● : 人的被害あり
赤文字: 人的被害あり

和歌山県
(28件)

奈良県
(33件)

三重県
(40件)



土砂災害防止法の改正

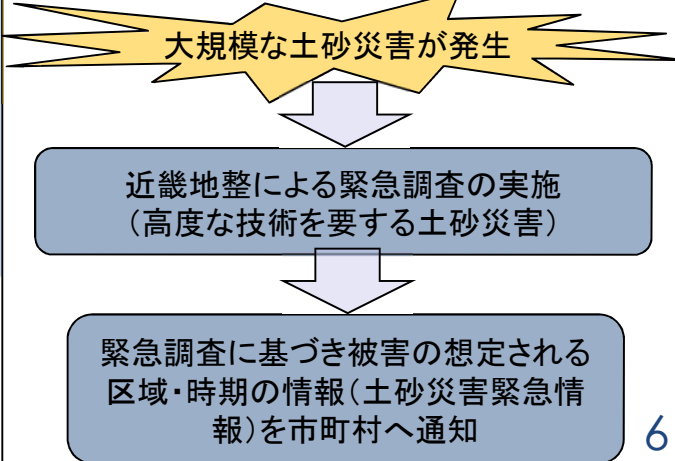
背景

- 岩手・宮城内陸地震、中越地震で**大規模河道閉塞が発生**。
- 市町村では**技術的な調査が困難であることが露呈**。

法改正

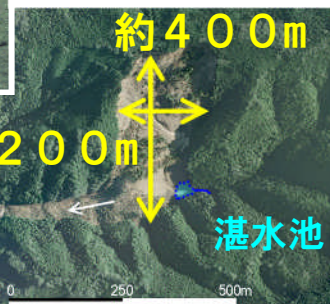
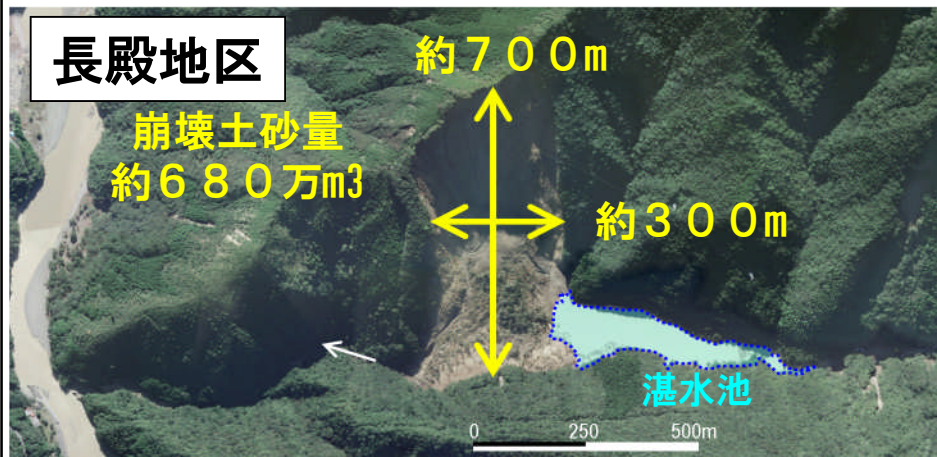
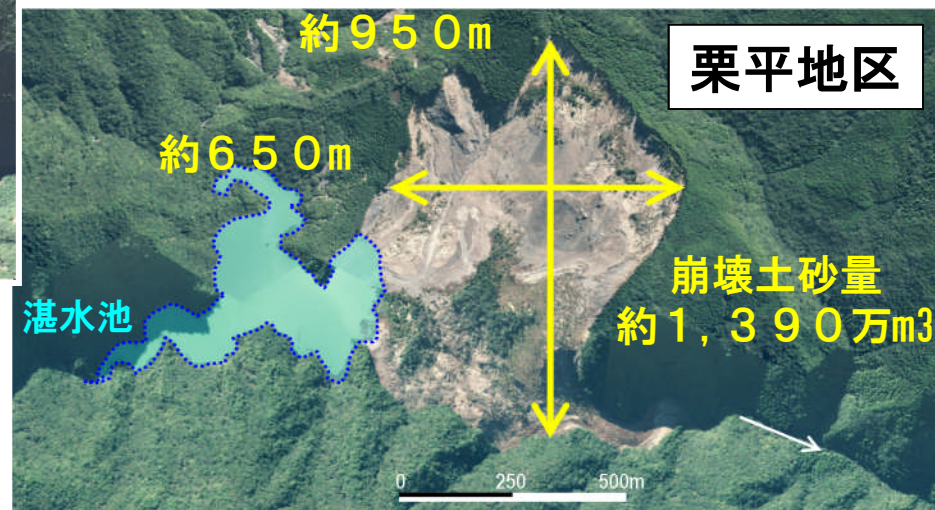
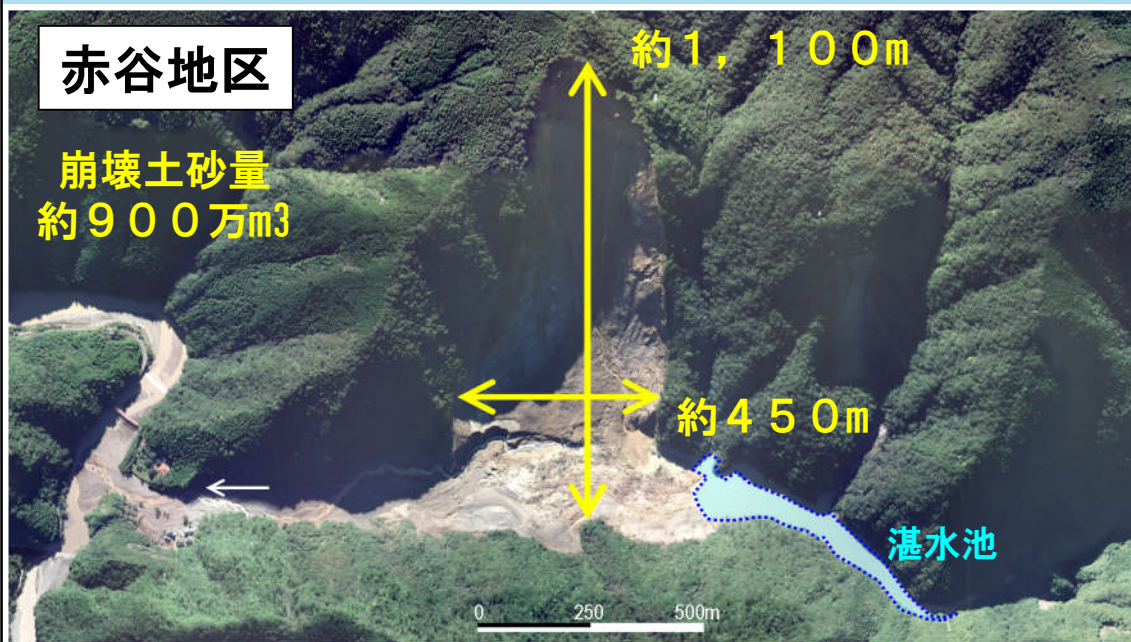
○大規模な土砂災害が急迫している状況において、**高度な技術を要する土砂災害**については国が緊急調査を行う。

改正後の適用は初めて

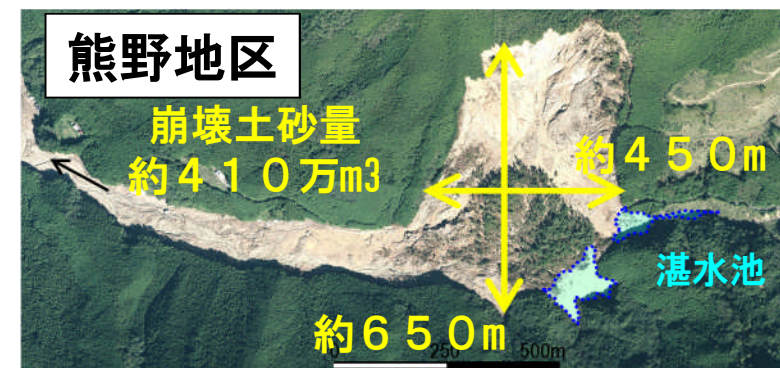


大規模河道閉塞箇所 の 諸元

	高さ	満水湛水量	崩壊土砂量	土砂災害範囲
赤谷	85m	550万m ³	900万m ³	距離:約19km 幅:250m
長殿	80m	270万m ³	680万m ³	距離:約 7km 幅:250m
栗平	100m	750万m ³	1,390万m ³	距離:約 3km 幅:250m
北股	25m	4万m ³	120万m ³	距離:約0.8km 幅:150m
熊野	60m	110万m ³	410万m ³	距離:約 5km 幅:200m



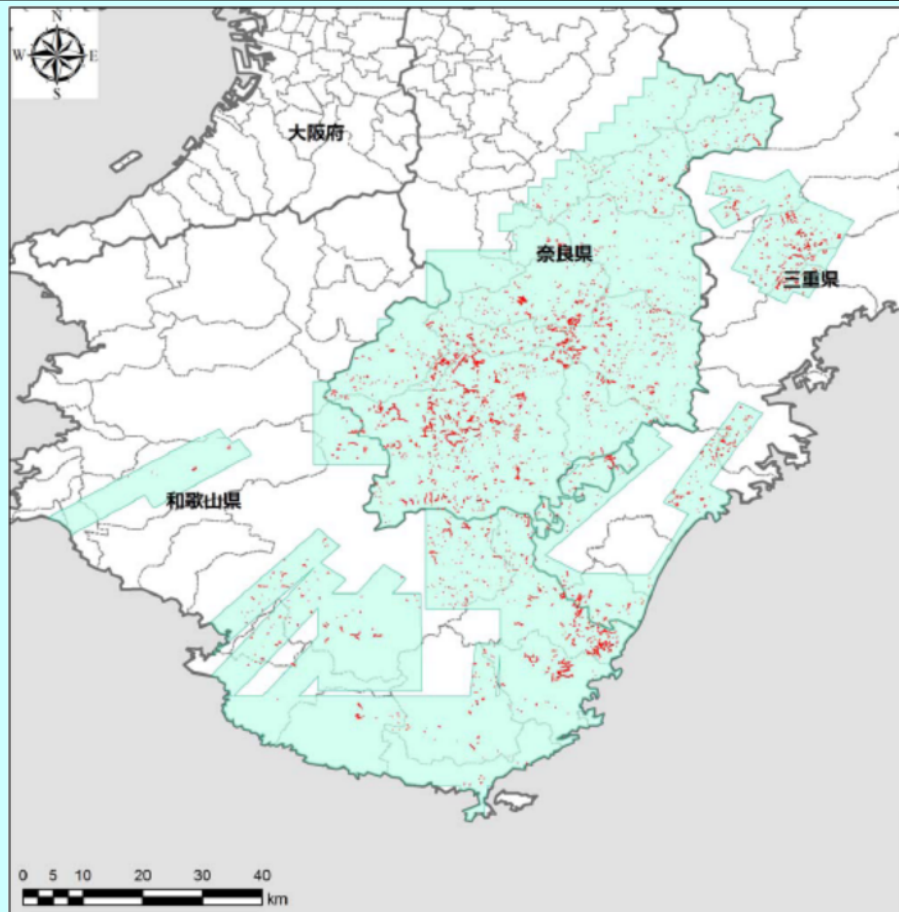
北股地区
崩壊土砂量 約120万m³



台風12号被害の概要

- ・崩壊土砂総量は約1億 m^3 。豪雨による土砂災害としては戦後最大規模を記録
- ・近年の河道閉塞を伴う大規模土砂災害では、箇所あたりの崩壊土砂量が多い

台風12号豪雨により奈良県・和歌山県・三重県での崩壊土砂量を航空写真判読等により算出した結果、崩壊土砂量は約1億 m^3



近年の河道閉塞を伴う大規模土砂災害では、箇所あたりの崩壊土砂量が多い

地区別崩壊土砂量の比較

